

8-4-24 設計ソフトウェア連絡WG

1. 主な活動の記録

(1) 組織

道路構造物専門委員会 4 名、道路専門委員会 1 名、河川構造物専門委員会 1 名より構成。

(2) 「設計ソフトウェアについてのアンケート」の整理・分析

設計ソフトウェア連絡 WG においては、エラー防止対策の一環としてソフトウェアの提供者であるソフトウェア会社とそれを利用する建設コンサルタント協会が、相互が抱える課題を認識し、双方の品質の確保・向上を図ることを目的としている。

前年度に行った、設計ソフトウェアの入・出力に関するエラー事例等のアンケート調査結果の整理・分析及び入・出力に関するソフトウェア会社への要望等の整理を行った。

(3) 「国総研・土研との実務者意見交換会」への参加

平成 29 年に改定された道路橋示方書の理解促進等に対応する改定道路橋示方書 SWG へ参加し、設計ソフトウェア会社と意見交換、国総研・土研との実務者意見交換会への参加等の活動を行った。

(令和元年 6 月 19 日、令和元年 11 月 14 日；国総研・土研との実務者意見交換会実施・参加)

(4) 「国交省設計業務におけるダブルチェック」の実施方法等の検討

国交省設計業務で実施されているダブルチェックの手法等について本省との協議・検討を行った。

また、国交省設計業務におけるダブルチェックにおけるソフトウェア会社への問合せおよび問合せ結果の集約および管理について、その対応・体制を改定道路橋示方書対応 SWG と調整を行った。

- ① 設計ソフトウェアに関する課題収集と整理・分析
- ② ソフトウェアに関するアンケート結果、改善提案を踏まえたソフトウェア会社との意見交換の実施
- ③ 協会ホームページへアップロードされているエラー事例の保守と新たな事例等の追加
- ④ 改定道路橋示方書 SWG への参加

(設計ソフトウェア連絡WGWG長 山下 智康)

2. 次年度の活動について

令和 2 年度も以下の活動を継続的に実施する。